

子規博特別講座 春季子規塾

正岡子規 と お笑い

可笑しみに着目して
子規の短歌や俳句を読む

時空を超えて石川啄木へ手紙を書く、という設定のエッセイ集『石川くん』（2001年初版。2013年にEテレで映像化）を書いたとき、啄木の短歌から滲み出る「可笑しみ」を重点的に紹介しました。その拙著を読んだ若い文学研究者のかたから、「ぜひ次は子規のことを『正岡くん』という本に書いてほしい」とのリクエストがあったのですが、当時は子規の人間性にまだそこまで強く興味を持ってませんでした。時が流れ、2023年。短歌を広める芸人活動の中で「正岡子規のモノマネ」という演目をやる機会があり、子規関連の本を読み返すうちに、「子規の作品の可笑しみ」に以前より着目できるようになりました。つまり最近になって「彼」を友達のように感じ始めた初心者ですが、子規に馴染みのないかたも、気軽な気持ちで聞けるようなお話ができたと思います。子規に馴染みのあるかたは、私の話を聞いた上で、もっと詳しいことをご存じでしたら、ご教授いただけると幸いです。



講師 榎野浩一氏

1968年東京生まれ。歌人。昨今は「短歌を本の中だけでなく、劇場や映像の中で輝かしてみたい」という考えにより、お笑い芸人としての活動も続けている。石川啄木への手紙『石川くん』（集英社文庫）、短歌青春小説『ショートソング』（集英社文庫）、アンソロジー『ドラえもん短歌』（小学館文庫）、pha・佐藤文香との共著『おやすみ短歌 三人が選んで書いた安眠へ誘ってくれる百人一首』（実生社）など著書多数。高校国語教科書に掲載された代表作を含む集大成『毎日のように手紙は来るけれどあなた以外の人からである 榎野浩一全短歌集』（左右社）現在8刷。日経新聞夕刊、毎週月曜「プロムナード」連載中。2024年4月よりEテレ「NHK短歌」選者。

令和6年 3月24日(日) 14:00～15:30

松山市立子規記念博物館 4階講堂

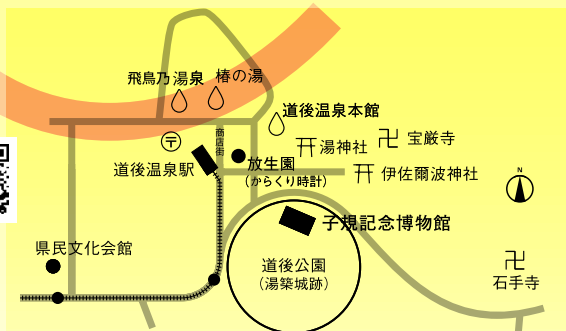
- 参加費：無料（事前申し込みが必要）
- 定員：300名（定員になり次第締切）
- 申込方法：[方法] ①氏名、②電話番号を明記し、お電話、メール、FAX、電子申請、ご来館にてお申込みください。

電子申請の方は、こちらから→



[宛先]

〒790-0857 松山市道後公園 1-30
松山市立子規記念博物館「春季子規塾」係
電話 089-931-5566 FAX 089-934-3416
メール sikhaku@lesp.co.jp



道後温泉駅より徒歩約5分/道後公園駅より徒歩約5分 ※公共の交通機関をなるべくご利用ください